

第9号の刊行によせて

本年度は、石垣構築技術の比較事業や城門の総合調査などを着実に進めたほか、玉泉院丸庭園や橋爪門での埋蔵文化財調査も進め、情報発信ではホームページをリニューアルいたしました。

さて、昨年度の本書第8号で紹介し、県民の皆様から反響がありました「寛文七年金沢図」の解読成果に引き続き、第9号では、「延宝金沢図」との比較を行った木越論文と、人名データの史料紹介を掲載いたしました。また、昨年2月には、シンポジウム「天下普請にみる石垣技術」を開催し、金沢城石垣構築技術等比較研究事業の3年間の成果をご報告いたしました。そこで第9号には、好評でございました本シンポジウムの講演等の内容を、特集として収録いたしました。そのほか、加賀藩前期の医者に関する池田論文も掲載することができました。

最後になりましたが、シンポジウムの講師を務めていただいた北野、白峰、市川の各氏には資料提供・校正でお手伝いいただき、また池田氏には玉稿をお寄せいただきましたことに感謝申し上げます。あわせて、本書が県民の皆様の高い関心に応え、金沢城跡の保存・活用の一助となり、広く近世城郭史研究に資するものとなれば幸いと存じます。

平成23年3月

石川県金沢城調査研究所

所 長 北垣 聡一郎